

第 3 次飯南町総合振興計画・第 3 期飯南町総合戦略策定に係る 町民意見集約のための各種調査の実施概要

1. 調査の目的

まちづくりの総合的な方向性を定める第 3 次飯南町総合振興計画・第 3 期飯南町総合戦略を策定するにあたり、広く町民の皆さまをはじめ、これからの将来を担う若者や中高生、飯南町のまちづくりに携わる様々な団体・組織・企業のキーパーソンなど、様々な年代・属性・立場の方の意見や考えを集約し、将来のまちづくりに反映させることを目的として、ワークショップの開催、アンケート調査（町民・中高生・若者の 3 種）、キーパーソンヒアリング調査を実施します。

2. 各種調査の概要

	アンケート調査		
	町民アンケート	中高生アンケート	Well-being アンケート
目的	町民を対象に、町政運営の評価や今後飯南町の取り組むべき施策、まちづくりの方向性等について把握します。	中学、高校生を対象とし、定住や U ターンの意向・条件等を把握します。	これからの 20 年間、飯南町内外で暮らしていくこととなる世代を対象に、アンケート調査により若者の幸せに関する価値観や因子等を分析します。
対象者	飯南町在住の 18 歳～79 歳の町民	飯南町内中学校・高等学校の全生徒	飯南町在住の 18 歳～59 歳の町民
配布数	1,500 人	赤来中学校 : 66 人 頓原中学校 : 38 人 飯南高等学校 : 181 人 計 : 285 人	500 人
実施期間	10 月 1 日～ 10 月 15 日 (2 週間)	9 月中旬～9 月末	10 月 1 日～ 10 月 15 日 (2 週間)
備考	地域別の分析が可能となるよう、地域別人口を踏まえて配布数を設定	アンケート調査票は中学校、高等学校で同様設問とし、意識やニーズの傾向を把握	地域幸福度 (well-being) 指標アンケート設問票 (デジタル庁) に基づいて実施。(全国統一設問)

	キーパーソンヒアリング	町民ワークショップ
目的	まちづくりや地域の産業等を担う団体・組織を対象に、各々の取り組みに関する課題やこれから必要な事項など、ヒアリングにより意見交換を行います。	若者をはじめあらゆる分野から参加者を募り、活発な議論により、総合振興計画策定の機運醸成と意見を集約します。
対象者	地域づくり、教育・文化・子育て、移住・定住、産業・観光、保険・医療・福祉、自治区の各区分から対象を選定。	飯南町民 多様な世代、地域、若者など様々な立場からの参画を募る
実施期間	事前アンケート調査 : 9 月中旬～ ヒアリング調査 : 10 月上旬～	11 月中
備考	多くの団体から意見を伺うため、事前アンケート調査を 20 団体程度実施。その中からヒアリング調査を 8 団体程度実施。	来島交流センターで開催。 町民公募のほか、各界団体・NPO・企業・地域団体への直接参加依頼を検討

3. 町民アンケート調査の概要

第2次総合振興計画における施策の評価および今後の飯南町の取り組むべき施策の方向性や重要度、定住意向や結婚・出産・子育ての希望等、総合振興計画・総合戦略策定の基礎データとなる町民の意向をアンケート調査により把握します。

設問内容（案）

項目	調査内容
1. 回答者の属性・居住歴	問1 性別
	問2 年齢
	問3 居住地区
	問4 家族構成
	問5 18歳未満または75歳以上の同居家族の有無
	問6 職業
	問7 通勤・通学先
	問8 住居の種類
	問9 居住年数
	問10 居住歴（転居履歴）
	問10-1 Uターン・転入の理由
2. 飯南町での生活	問11 飯南町の住みやすさとその理由
	問12 これからの定住の意向・その理由
	問13 周辺的生活環境の変化・その理由
3. 人口減少対策（定住や移住、交流）に向けた今後のまちづくり	問14 飯南町への転入者を増やすために取り組むべき施策
	問15 飯南町と関係を継続的に持ち続けるために取り組むべき施策
	問16 結婚に対する考え
	問17 出産・子育てに対する考え ※出産を望んでいる方、子育てをしている方のみ。
	問18 人口が減少する中でも暮らし続けるために重要なこと
4. 地域活動・まちづくり	問19 町民と行政の関係や役割分担
	問20 地域活動への参加経験・内容
	問21 地域活動に参加しやすい仕組みづくり
5. 施策の評価と重要度	問22 第2次計画の施策の満足度・今後の重要度 ※第2次計画の24施策について、満足度と重要度を5段階評価
	問23 第2次計画の施策のうち、特に重要と思う施策
6. デジタル化	問24 インターネットの利用頻度
	問25 マイナンバーカードの利用
	問26 デジタル化を期待する分野
7. 飯南町の行政	問27 飯南町の情報入手先
	問28 飯南町の行政に対する関心
	問29 町民参画の機会づくりの取り組み
8. まちの将来像	問30 まちの将来像のキーワード
9. 飯南町に持っているイメージと自由意見	問31 飯南町への愛着や誇り
	問32 飯南町の自慢できるところ
	問33 10年後の飯南町の生活の心配ごと
	問34 まちづくりに対する自由意見

4. 中高生アンケート調査

本町の将来を担う子どもたちの進学や定住の意向および飯南町で住み続けられる、また進学や就職で町外へ出たとしても、帰って来たくなる条件等を把握するため、中学・高校生を対象としたアンケート調査を実施します。

設問内容（案）

項目	調査内容
1. 回答者の属性	問1 性別
	問2 学校名
	問3 学年
	問4 居住地区
	問5 飯南町の居住年数
2. 飯南町に持っているイメージ	問6 飯南町の自慢できるところ
3. 将来について	問7 高校卒業後の進路・居住地域
	問8 飯南町での定住意向・その理由・Uターン時期
	問9 就きたい職業
	問10 職場（企業等）選びで大事にするところ
	問11 地元企業の認知度（思い浮かぶ企業数）
	問12 地元で魅力を感じる（働きたい）企業の有無
4. 結婚・子育て	問13 結婚に対する意向・結婚後の飯南町での定住意向
	問14 子どもに対する意向、希望する子どもの数、子どもを持ちたくない理由
	問15 飯南町での結婚・子育ての良い面（安心できる面）、悪い面（不安な面）
5. 地域との関わり	問16 地域活動・行事への参加状況
	問17 地域活動への参加意向
	問18 将来飯南町と関わりを持ちたいか・関わり方・必要なこと
6. 飯南町について	問19 飯南町が好きかどうか・その理由
	問20 飯南町に対する愛着や誇り
	問21 飯南町に住み続けていく上で重要なこと
	問22 10年後の飯南町がどのようになっているほしいか
	問23 より良いまちになるためのアイデアや意見

5. 若者×Well-being アンケート調査の概要

これからの飯南町を担う若者を対象に、地域の Well-being（地域幸福度）の向上を図る指標として、活用が推進されている「LWC 指標」を用いたアンケート調査により、若者の価値観や幸せの因子等を把握し、次期計画の施策に反映させる基礎データを収集します。アンケートはデジタル庁・一般社団法人スマートシティ・インスティテュートの作成した令和5年度版地域幸福度（Well-Being）指標アンケート設問票に基づき実施します。

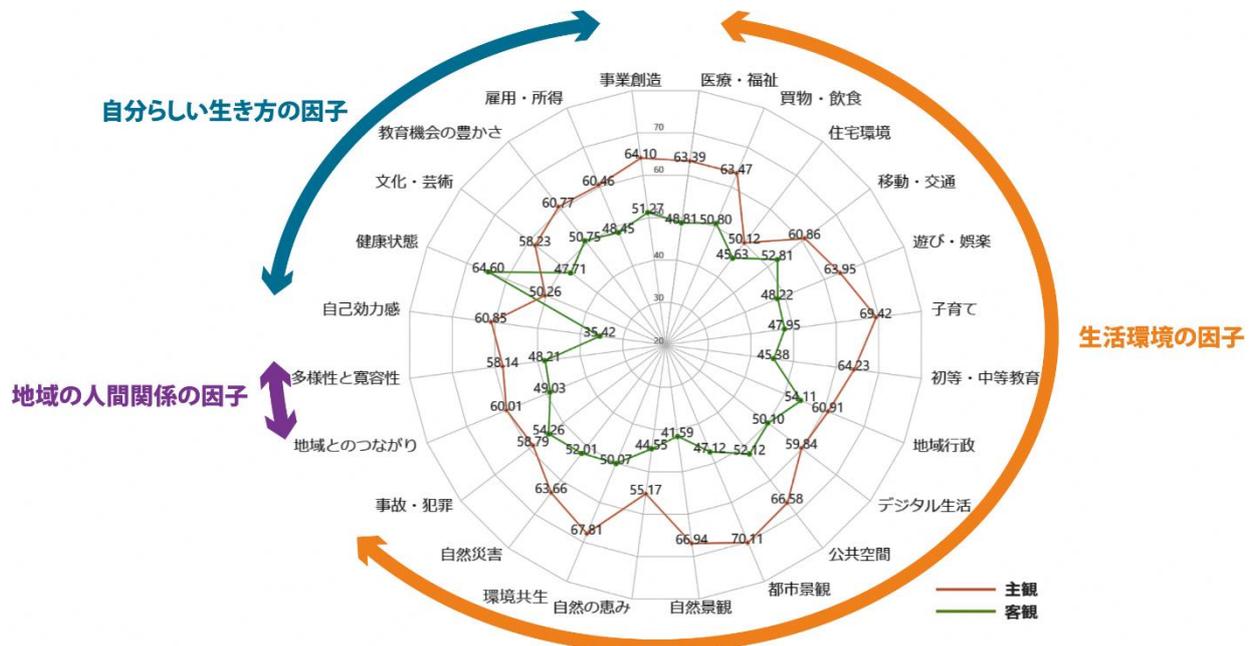
地域幸福度（Well-being）指標について

- ・「地域の幸福度・生活の満足度」を計る4つの設問と、3つの因子群（“生活環境”、“地域の人間関係”、“自分らしい生き方”）から構成され、これらについて、人々が主観的にどのように感じているかを調査します。
- ・アンケート調査で把握する町民の主観的な評価と、統計等から整理する客観的な暮らしやすさの評価を偏差値化し、飯南町の地域幸福度に関する特性を把握します。

カテゴリ名称		
生活環境(16)		地域の人間関係(2)
医療・福祉	公共空間	地域とのつながり
買物・飲食	都市景観	多様性と寛容性
住宅環境	自然景観	自分らしい生き方(6)
移動・交通	自然の恵み	自己効力感
遊び・娯楽	環境共生	健康状態
子育て	自然災害	文化・芸術
初等・中等教育	自己・犯罪	教育機会の豊かさ
地域行政		雇用・所得
デジタル生活		事業創造

主観的評価：アンケート調査で把握
客観的評価：統計等から把握

偏差値化しレーダーチャートで特性を把握



設問内容（抜粋）

項目	因子	設問内容
地域における 幸福度・満足度	幸福度・ 満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・どの程度幸せか ・住んでいる地域の暮らしに満足しているか ・町内の人々は、どれくらい幸せだと思うか ・身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思うか 等
生活環境	医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしている地域は、医療機関が充実している ・暮らしている地域では、介護・福祉サービスが受けやすい
	買物・飲食	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない ・暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している
	住宅環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅には、心地のいい居場所がある ・地域では、適度な費用で住居を確保できる 等
	移動・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる
	遊び・娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある
	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い ・暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる
	デジタル生活	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる
	他、9 因子（初等・中等教育、地域行政、公共空間、都市景観、自然景観、自然の恵み、環境共生、自然災害、事故・犯罪）	
地域の 人間関係	地域との繋がり	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している ・町内（集落）の人が困っていたら手助けをする 等
	多様性と寛容性	<ul style="list-style-type: none"> ・町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある ・町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる 等
自分らしい 生き方	自己効力感	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを好ましく感じる
	健康状態	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、身体的に健康な状態である ・私は、精神的に健康な状態である
	文化・芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい ・将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい
	教育機会の豊かさ	<ul style="list-style-type: none"> ・私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある
	雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> ・私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい ・私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある
	事業創造	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

5. キーパーソンヒアリング調査

町内外に暮らす飯南町のキーパーソン・組織団体等に、飯南町の現状認識や課題解決に向けての取り組み方針等について意見聴取します。

多くのキーパーソンから意見聴取をするために、事前アンケート（20 件程度）により意見を収集し、その中でも特に意見を伺いたい団体を対象にヒアリング調査（8 件程度）を実施します。

調査対象（案）

分類・主要分野	
地域づくり	飯南町のまちづくり、産業振興等に携わる様々な分野の団体・組織 (対象団体選定中)
教育・文化・子育て	
移住・定住	
産業・観光	
保健・医療・福祉	
自治区	

調査項目（案）

項目	内容
対象団体・組織について	① 対象団体・組織の概要（人数、設立時期、活動日・場所、主な活動内容、設立目的等）
	② 進めている取り組み、活動
運営上の課題と解決策	③ 団体の活動・運営を進めていくうえで、抱えている課題・問題
	④ 課題解決のために、今後取り組む新たな活動や事業として考えられること
飯南町の強みと弱み	⑤ 飯南町で事業・活動を展開するメリット・デメリット
	⑥ 飯南町の魅力（対外的アピールポイント）
飯南町の施策アイデア連携について	⑦ 過去 10 年間の町の施策に対する評価
	⑧ 活動を推進していくうえで、町に希望・期待すること、または、施策の改善、新たなアイデア
	⑨ 町が実施している施策の中で、貴社・団体が連携できる取り組み
これからの施策について	⑩ 町政全般として新たに取り組むべき施策・事業に必要なこと
	⑪ 第 3 次飯南町総合振興計画・第 3 期総合戦略策定の論点や意見

7. 町民ワークショップの開催

多様な世代、地域、年代など、様々な立場から参画を募り、町民の皆さまの意向を計画策定に反映させるため、また今後進めていく第 3 次総合振興計画策定の取り組みの周知と機運醸成を図るために町民ワークショップを開催します。

開催概要（案）

項目	開催概要（案）
参加者・募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な世代、地域、若者など様々な立場からの参画を募る。 ・ 町民公募のほか、各界団体・NPO・企業・地域団体への直接参加依頼を検討（特定分野に偏らないようバランスに考慮）
参加人数	30名～50名程度を想定
テーマ(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飯南町の良いところ・問題のあるところ ・ 誇りと愛着を持ち続けられるまちの姿 ・ 幸せに暮らせるまちの将来像の検討・将来像実現の手法
開催時期	11月中
開催場所	来島交流センター